

会 議 録			
令和6年度 第19採択地区教科用図書 第2回選定委員会			
招集年月日	令和6年7月11日(木)	開会場所	行田市教育委員会 2AB会議室
開閉の時刻 及び宣言者	開会 7月11日(木) 14時00分 閉会 7月11日(木) 16時30分	司会	教育指導課長
会長	行田市教育研究会長	副会長	中学校校長会長
席次番号	出席の委員	摘 要	
1	行田市教育研究会長		
2	中学校校長会長		
3	小学校校長会長		
4	行田市PTA連合会代表		
5	教育指導課長		
議 事 参 与 者			書 記
教育指導課指導主事兼主幹			教育指導課指導主事兼主幹

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
司会	開会
会長	あいさつ
司会	<p>資料確認</p> <p>本日の研究結果報告だが、教科ごとに全部の教科書について、調査員が作成した資料「第19・20採択地区教科用図書研究結果報告書」に基づいて報告する。報告後、質疑応答の時間となるが、報告書と調査員会での話し合いの内容に基づき、お答えさせていただく。報告は、資料「令和7年度使用中学校教科用図書一覧表」の順で行う。また、各教科書の分量等の報告については、埼玉県教育委員会の調査資料をご参照願う。</p> <p>質問はあるか。</p>
司会	<p>協議に入らせていただく。協議の進行については、第19採択地区教科用図書選定委員会規約第9条2項により、第19採択地区教科用図書選定委員長様をお願いする。よろしく願います。</p>
会長	<p>はじめに、第19採択地区教科用図書選定委員会規約第10条により、この会は公開とするが、よろしいか。</p> <p>【全委員承認】</p>
会長	<p>事務局。傍聴される方は、来られているか。 傍聴する方がいたら、傍聴について説明し、案内をお願いする。</p>
事務局	<p>（事務局より傍聴人に説明する。） ※傍聴人規則の説明</p> <p>（傍聴人着席）</p>
会長	<p>事務局より研究結果報告について、はじめに国語の報告を願う。</p>
事務局	<p>「新しい国語」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」と「書くこと」の前後に「学びを支える言葉の力」を配置しており、単元を通して習得した国語の知識・技能を次の単元で活用できるよう工夫されている。 ・「読むこと」の教材では、手引として課題が設定されており、「振り返る」では、学習者相互の考えを交流させて、発表、話し合いなど、学んだことを活用していく言語活動が設定されている。 ・各教材冒頭の「見通す」で学習の見通しをもち、教材末の「振り返る」で学習を振り返るとともに次の学習への展望をもてるようになっている。 ・「読むこと」の教材を中心に「読書案内」が設定されており、

読み広げるための本が数多く紹介されている。また、夏休みや冬休みの読書に向けて、同じテーマでの読み比べや読み広げができるように設定されている。

- ・ 巻末の「資料編」では、「原稿用紙の使い方・推敲の観点」「要約の仕方」「思考ツール」など、学習の助けとなるものや、「主体的・対話的で深い学び」を促す「読むこと」の教材に関連した別の文章を掲載している。
- ・ 全学年で「日本語探検」を配置し、方言やアクセントなど音声的分野、語の意味と文脈、時代による言葉の変化などの語用論的分野について扱っている。

「現代の国語」(三省堂)

- ・ 全学年で各教材の学習過程に沿った「思考の方法」を配置している。比較する、分類する、関連付けるといった基本的な思考スキルを、図解を用いて示し、生活の中で活用できるように工夫している。
- ・ 対話や話し合いなどの共同的な言語活動の場を適切に設け、合意形成の具体的な方法や論理的思考力、説得性のある表現力を身に付けさせるための教材を配置して活用的な学習を展開している。
- ・ 近現代の作品を掲載しつつ、古典教材ではカラーの見開きページがあり、視覚的にも意欲が喚起される。また、古典芸能に関する資料も掲載されている。
- ・ 「読書の広場」には、多様なジャンルの読書教材が掲載され、「私が選ぶこの一文」「ビブリオバトル」「ブックトーク」などの読書活動が示されている。
- ・ 二次元コードの参照先サイトでは、解説動画や朗読音声、デジタルドリルの他に、参考資料として「生徒作文例」を数多く掲載している。
- ・ 「読むこと」では「学びの道しるべ」を教材の後に配置し、目標の確認で見通しを持ち、構造や内容を捉える、読みを深める、自分の考えを深める、学びを振り返る、学びを広げる の5段階の学習課題を示し、「思考の方法」「語彙を豊かに」で各教材の学習活動と関連させながら学習できるようにしている。

「伝え合う言葉 中学国語」(教育出版)

- ・ 「情報の扱い方」に関しては、情報に関する読み物や、文章中の情報と情報の関係を捉えるといった学習活動の中で、情報活用能力を身に付けられるよう工夫されている。
- ・ 「読むこと」教材の学習の手引では、「学びナビ」で系統性を明らかにするとともに、段階的な課題により、学習者同士が考えを比較することで協働的な学びへ展開できるような言語活動が設定されている。
- ・ 各教材の目標と振り返りを明確に示すとともに、教材冒頭の「学びナビ」で身に付けたい力を提示し、見通しをもって学習を進められるようになっている。
- ・ 「広がる本の世界」として学びを深める読書案内がされている。学年ごとに2つ読書教材が掲載され、その中でポップ作りや情報の取り出し方や読書交流の活動が紹介されている。
- ・ 文学的文章の挿絵は、生徒が想像を膨らませるイメージ豊かなものになっている。また、各学年の巻末に「学習に必要な用語(索引)」が設けられており、学習の見通しと振り返りができるよう工夫されている。
- ・ 教材ごとに重点的に学ぶ内容や学習の見通しを「学びナビ」「ヒント」「目標」で示しており、学習内容の明確化、焦点化が図られている。

「国語」(光村図書)

	<ul style="list-style-type: none"> ・文法や言葉の学習では、生徒の日常の言語生活から題材を取り上げており、必然性をもって学べるように工夫されている。 ・「話すこと・聞くこと」「書くこと」では、比較してみたり、批評させたりするなど、学習者同士の交流の場を設け、伝え合う力を身に付けさせるための取り組みが配置されている。 ・巻頭で「学習の見通しをもとう」を設けている。また、「学びへの扉」が示され、3観点での振り返り（自己評価）できるようになっている。 ・「読むこと」の教材ごとに関連する本が「広がる読書」として1冊～2冊紹介されている。読書の教材は、現代の作品、研究を通して考えさせる作品と2作品ずつ掲載し、読書の幅を広げるための本を数多く紹介している。 ・「資料編」では、教材に関連した資料が領域別にまとめられており、補充的、発展的に扱えるよう工夫されている。 ・教材ごとに学習の流れと身に付ける資質・能力を「学びへの扉」「学びのカギ」で示しており、学習を焦点化することで、習得した力を活用して課題解決能力を伸ばす工夫がされている。
会長	質問はあるか。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領では、何をどのように学ぶのか、育むべき資質・能力を明確にした授業実践が求められているが、それらはどのように示されているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「学びへの扉」や「学びナビ」といった、本単元で育成すべき資質・能力や学習計画等が示されているページがあり、授業づくりのヒントとなっている。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コードやデジタルコンテンツによる授業支援についての報告があったが、具体的にどのような資料となっているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書の二次元コードを読み取ることで、学習の解説や筆者のインタビューといった資料を見ることができ、生徒が学習内容を理解するのに役立てることができる。また、デジタルドリルやCBT実施を考慮した小テストを実施することができ、自主学習として活用することもできる。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科の学習では、生徒がたくさんの言葉に触れ、語彙を増やしていくことも大切だと思うが、言葉の学習において、どのような工夫が見られるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・どの会社においても、生徒の語彙を増やすための工夫が見られる。例えば光村図書では、「語彙ブック」という教材が新しく作られており、生徒が多く言葉に出会い、自分の思考や感情を的確に言語化するための補助となる資料になっている。
会長	次に書写の報告を願う。
事務局	<p>「新しい書写」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛筆では、朱書きをまねできるように応用して記載し、「書写のカギ」というポイントから書き方を確認できる工夫がされている。 ・行書の基本の筆使いを4つに絞って情報を記載し、それを応用する流れで、自分で考えてまとめて日常生活に活かせるように構成されている。 ・基本単元に目標と振り返りを設定してあり、自分でねらいを意識し、振り返りができるように構成されている。 ・「生かそう」では毛筆で学習した点画の連続等を生かして硬筆で書くという構成で作られ、毛筆から硬筆へと学びつながらやすいように構成されている。 ・学年ごとに「書写テストに挑戦！」という書写テストが用意されており、身につけた知識・技能の定着と学力の向上を図る工

夫がされている。

- ・大事なポイントをまとめた「書写のかぎ」、行書の特徴的な動きのパターンをまとめた「行書の四つの動き」により、基礎・基本を押さえるとともにそれを活用できるような工夫がなされている。

「新しい書写」(三省堂)

- ・「学習の見通しをもつ」「書き方のポイントをつかむ」「ポイントがどこに使われているか見つける」「毛筆で書く」「振り返る」「繰り返し書く」「自分の言葉でまとめる」という過程で、見通しがもてるように構成されている。
- ・教科書に書き込んでできる内容が充実し、単元で学んだことを表現活動に生かして取り組むことができるように工夫がされている。
- ・手本のページはポイントを絞り、情報が厳選されていて、必要な情報を自分で判断し応用して取り組むことができる設定がされている。
- ・見開きのページ毎に楷書の書き方、点画の種類・筆使い、硬筆の練習を設定しており、毛筆と硬筆の資料の見やすさ、練習する枠が充実している。
- ・各学年末の「やってみよう」は、国語の学年末教材と同じ内容を取り上げ、書写で学んだ書き方を生かせるように工夫されている。
- ・手本のページはポイントを絞り、情報が厳選されていて、必要な情報を自分で判断し応用して取り組むことができる設定がされている。
- ・各教材で書き方のポイントや学習内容が見開きでコンパクトに構成され、ひとめで学習内容が分かるように工夫されている。

「中学書写」(教育出版)

- ・教科書のサイズが違い、書道の手本が実物に近い形になっていて、より実践的な取組ができる工夫がされている。
- ・「考えよう」では疑問を示し、質問を考えさせ、学習のポイントを意識できるように工夫されている。
- ・「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」「学習を生活に生かそう」の学習の流れがあり、見通しをもって取り組める構成になっている。
- ・「生かそう」では毛筆の筆の使い方の練習を行い、その動きを生かして、硬筆で文字を書くことにつなげ、毛筆と硬筆の関連を図っている。
- ・巻末の「書式の教室」で、はがき、封筒、原稿用紙、願書を取り上げ、生活と書写との関連を図っている。
- ・「まなびリンク」からデジタルコンテンツにリンクしており、「比較ツール」を使って自分が書いた文字と教材文字を比較できる工夫がされている。

「中学書写」(光村図書)

- ・書写ブックを利用することで、硬筆と毛筆の書き方や組み立てを学習することができ、定着を図るための工夫がされている。
- ・「とん」「ぴょん」「ピタ」の表現からリズムよくできる工夫がされていて、応用することで実生活にも生かすことができる工夫がされている。
- ・QAを示し、基本的な姿勢等を確認し、学習に取り組むべき基本事項を再度認識し、取り組めるように工夫されている。
- ・別冊「書写ブック」が硬筆練習帳として各教材とリンクしており、毛筆での学習を硬筆に生かし、定着させる工夫がされている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・手紙の書き方だけでなく時候の挨拶、一字あける等の手紙等を書く際の細やかなアドバイスがされており、身近な生活に生かしやすい資料となっている。 ・各教材の「考えよう」において、課題に対して鉛筆で囲ませる学習活動を通して、自ら思考しポイントが気付けるような工夫がなされている。
会長	質問はあるか。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・毛筆は、始筆、送筆、終筆等、基礎基本の指導の徹底が重要であると考えるが、それらを指導するにあたり、どのような工夫が見られたか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍は、「とん、すう、びたっ」などのオノマトペを使い、リズムよく運筆できるための工夫がされている。三省堂は、運筆も含め、教科書に書き込んでできる内容が多い。教育出版では、手のひらを筆に見立てて筆づかいを確認するウォーミングアップ活動が設けられており、始筆、送筆、終筆をイメージしやすい工夫がされている。光村図書では、QR コードを読み取ることで運筆や筆遣いを確かめてから実践することができるようになっている。
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・字形を整えていくために文字の組み立て等について、どのように指導していくかも重要であると思う。字形を整えるための工夫はどのようなものがあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍では、見開きのページに楷書と行書の具体例があり、情報を絞って提示されており、見やすい工夫がされている。三省堂では、お手本のページはポイントを絞ってあるため、子供たちが意識しやすいように工夫がされている。教育出版は、教科書のサイズがやや大きく、毛筆の手本が実際に近い形になっている。光村図書は、「書写ブック」がついていて、書き方や組み立てを学習することができるため字形を掴みやすい工夫がされている。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・二次元コード等、ICT 活用の視点での協議はあったか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・どの教科書会社も資料や付録が充実している。デジタルコンテンツの種類も年々増加している。また、デジタルコンテンツ一覧があったり、デジタルコードから左利き対応の動画にリンクしているものがあったりなど、時代の変化に応じて、それぞれの教科書会社での工夫がみられる。
会長	次に社会、地理的分野の報告を願う。
事務局	<p>「新しい社会」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の諸地域を学ぶ際に地域の様子を想像するための写真「世界の窓」が新設され、生徒の知識定着のための視覚的な工夫がされている。 ・探究課題解決のための「まとめの活動」では、思考ツールを用いることで思考を可視化し、「探究のステップ」で各章の地理的事象を振り返りながら解決に取り組むことで、思考力、判断力、表現力等を養うことができるように工夫されている。 ・「世界の諸地域」の学習では、「世界の窓」が新設され、生徒の興味・関心を高め、学びの見通しをもつことができるよう工夫されている。 ・学習の流れを可視化し、課題を解決する力を育てる工夫がされている。1時間の学習の流れを「見える化」し、学習のプロセスが配置されていることで、生徒が段階的に課題解決的な学習に取り組むことができる。
	<p>「中学社会」（教育出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ページごとに確認と表現の記載があり、知識の定着を図るだけ

<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>ではなく、知識を活用するための技能を身に付けることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地理の窓」等のコラムでは、立場や場面によって視点が大きく異なる社会的事象を取り上げ、多面的・多角的に考察し、批判的に読み解くことで公正に判断する力を養うことができるように工夫されている。 ・「まなびリンク」では、クイズや動画等にアクセスでき、復習や自主学習等個別最適な学びの支援の工夫がされている。 ・「問い」を軸にして、単元(章・節)を通して課題解決的に学習を進められるようにして、課題を捉え、見通しを立て、解決していく力を養い、「見方・考え方」を働かせた学習ができるように工夫されている。 <p>「社会科中学生の地理」(帝国書院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地の写真やハザードマップ等が用いられており、より詳細なデータを読み取ることができるような工夫がされている。 ・章や節の最後には、全体を振り返り地域的特色をまとめる「学習を振り返ろう」が設定され、思考ツールを活用し「見方・考え方」を働かせることで章・節の問いの解決に向けて、多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 ・対話を通して学びを深める「アクティブ地理」が設定されており、課題に粘り強く向き合う姿勢や、合意形成を目指す態度を身に付けられるように工夫されている。 ・学習の見通しをもたせるため、章(節)を貫く課題が設定され、1単位時間ごとに学習課題が示されるとともに、「確認しよう」「説明しよう」で「まとめや振り返り」ができるようになっている。 <p>「中学社会」(日本文教出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考の流れを重視したページの作りになっており、見開き2ページを確認するだけで1時間の内容を再確認できるようになっている。 ・導入ページでは、「なぜ」を用いた問いを立てる活動が提案されており、節の問いを解決するために自分の考えを深めることで思考力を養うことができる。 ・ポートフォリオやイントロダクションムービー等のデジタルコンテンツが充実しており、自学自習の支援、生徒の学習意欲の向上につながっている。 ・理的分野の資質・能力を育成できるよう、生徒自らが「編・章・節の問い」を立て、単元の見通しをもって各時間の学習課題に取り組み、「まとめと振り返り」で「問い」を改めて考えるという構造になっている。 <p>続いて、歴史的分野の報告を願う。</p> <p>「新しい社会」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の興味・関心を引き出すための「もっと知りたい!」のコラムコーナーがあり、学習内容をより深めたりより広げたりすることができる。 ・探究課題を解決するための「まとめの活動」では、「みんなでチャレンジ」等の活動を通して、節ごとに学習を振り返り、探究ステップを積み重ねることで多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 ・単元の導入において、生徒が見通しをもって主体的に学習を進められるように、キャラクター年表等の工夫がされている。 ・単元を貫く探究課題を設け、単元のまとまりを意識して深い学びにつなげられるような構成である。また、段階を踏んで探究課題を解決できるよう、1時間ごとの学習課題と1時間の振り
----------------------	---

返り、単元を振り返る活動が設けられている。

「中学社会 歴史」(教育出版)

- ・章ごとに内容を振り返るページをつくっており、学習した知識や思考の過程を再確認することができる。
- ・章末の「学習のまとめと表現」では、各時代の特色を振り返りまとめる「STEP!」「JUMP!」の活動を通して、時代を大観しその変化について「見方・考え方」を働かせ、思考力、判断力、表現力等を養うことができるよう工夫されている。
- ・小学校の学習との繋がりが大切にされており、同じキャラクターの使用や小学校の学習の復習として「歴史ゲームで遊ぼう」が設定されている。
- ・学習している時代や世紀を前後の時代も含めて確認できるように、見開きの左ページ中央に「時代スケール」が掲載されている。

「社会科中学生の歴史」(帝国書院)

- ・歴史的事象やそれに関わる人権や環境のコラムを載せており、より深い知識を身に付けることができる。
- ・章末の「学習を振り返ろう」では、「見方・考え方」を働かせて考えを整理したり、思考ツールを用いて対話をしたりすることで、思考力、判断力、表現力等を養うことができるよう工夫されている。
- ・「アクティブ歴史」が設定されており、課題に粘り強く向き合う姿勢や、合意形成を目指す態度、生きて働く知識・技能を身に付けられるように工夫されている。
- ・問いを軸にした単元構成の構造化により、「主体的・対話的で深い学び」と「指導と評価の一体化」が図られている。また、時代の特色が分かる豊富な写真や資料、歴史的な背景が分かる記述等、生徒が興味・関心をもって学習に取り組めるようにしている。

「中学歴史」(山川出版)

- ・高校の授業との関連を考えての記述がされており、世界史と日本史を関連付ける工夫がされている。
- ・見開きのまとめ「ステップアップ」では、習得した知識を活用し、歴史的事象の影響や変化等の問いを解決していく中で、「見方・考え方」を働かせながら多面的・多角的に考察し表現する力を養うことができるように工夫されている。
- ・域と歴史をつなげる力を養う「地域からのアプローチ」が7つ設定されており、歴史を学ぶことの現代的な意味が考えられるようになっている。
- ・因果関係を重視した本文の記述や豊富な発問を通して、歴史的な見方・考え方を身に付けさせ、生徒の主体的・対話的な深い学びを促し、学習意欲が高まるように工夫している。

「中学社会」(日本文教出版)

- ・導入ページでは前後の時代を比較することができる資料が掲載されており、比較することで時代ごとの特徴や知識を身に付けることができる。
- ・「チャレンジ歴史」では、史料をもとに対話的に学ぶ活動を通して、「見方・考え方」を働かせて時代の転換を考えたり、選択・判断したりすることで、公正に判断する力を養うことができるように工夫されている。
- ・時代像をイメージできるように、本物の資料やビジュアルを意識した文化史等の工夫が見られる。
- ・よりよい未来を考えるにあたって、課題とその解決への取組を知るための特設ページを設けている。歴史学習の最後に、『歴

史との対話』を未来に活かす」を設定して、現代の諸課題を考
えることができるよう工夫してある。

「新しい歴史教科書」(自由社)

- ・「もっと知りたい」のコラムが複数挿入されており、授業で学
んだ内容をより詳細に学ぶことができるような工夫がされて
いる。
- ・「時代の特徴を考えるページ」では、時代・人物の比較や「ひ
とこと」作文を通して、時代を大観し、構造化する力を養うこ
とができるように工夫されている。
- ・「人物コラム クローズアップ」や「もっと知りたいコラム」
を通して、歴史の奥深さや面白さを伝える工夫が見られる。
- ・教科書の文体を敬体で表記し、興味をかき立て、知的好奇心に
訴えるような内容にしている。また、単元の周辺には、年表や
地図、図版等、本文を補足し発展させる教材を多く配置してい
る。

「新しい日本の歴史」(育鵬社)

- ・「歴史ズームイン」で、ページで学習した内容についてより深
めるための解説をしたり、別の視点から見方を示すための資料
や情報を紹介したりしている。
- ・コラム「歴史ズームイン」では、見開き等での学習内容を多面
的・多角的に解説しており、まとめの「見方・考え方」に取り
組むことで、思考力、判断力、表現力等を養うことができると
うに工夫されている。
- ・国家や文化の発展等に尽くした人物を載せたり、「人物クロー
ズアップ」でその業績を紹介したりし、生き方や人間的魅力も
学べるよう工夫されている。
- ・各章の導入に、本書に登場するキャラクターがタイムマシンに
乗って時代を旅する[歴史絵巻]があり、時代を歴史の大きな
流れで捉えようとしている。各章で学習する時代に、世界史の
視点から日本の歴史を考察する考慮がされている。

「ともに学ぶ人間の歴史」(学び舎)

- ・章の始まりには見開きの地図、年表、写真資料とともに章の学
習課題が提示され、地理との関連も含めた幅広い知識を身に付
けられるよう工夫されている。
- ・体験によって学ぶための「歴史を体験する」では、火起こしの
方法や、インターネットで絵画資料を鑑賞する方法などが紹介
されており、体験的な活動から思考力、判断力、表現力等を高
められるよう工夫されている。
- ・「学習のまとめ」では、各時代の特色を考察してグループやク
ラスで発表する活動が設定されており、表現の場を増やす工夫
が見られる。
- ・各時代の年の様子や使われていた道具、人々の暮らしを導入と
して本文が始まるなど、多様な視点から学習課題を設定してい
る。
- ・現代史の内容が充実しており、歴史的事象を今日的課題と結び
つけ、よりよい社会の実現に向けて考えることで、公民的分野
の学習につなげられるよう工夫されている。

「国史教科書」(令書)

- ・多岐にわたる文献や資料を載せることにより、歴史について生
徒の興味・関心を高める工夫がされている。
- ・「まとめ学習」では、項目ごとに表にまとめたり、政治・文化・
外交・産業の面から考察したりする活動を通して、時代を大観
し、多面的・多角的に捉えることができるように工夫されてい
る。

<p>会長</p> <p>事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の歴史や地域史を基にした小説や映画等、歴史学習の幅を広げるフィクション作品の例が掲載されている。 ・日本の歴史を伝統と文化の視野に立って、さまざまな問いを提起することを意図して編集されている。各時代の導入では、学習の見通しをもたせるため年表から時代を概観する構成になっている。 <p>続いて、公民分野の報告を願う。</p> <p>「新しい社会 公民」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各章ごとの知識を定着するためにまとめのページがあり、章ごとの探究課題を追究することで課題解決のための技能を身に付けることができる。 ・見開きのまとめ「チェック&トライ」では、学習課題を振り返り、自分のことばでまとめることで表現力を養うことができるよう工夫されている。 ・単元の導入において、生徒が見通しをもって主体的に学習を進められるように、「単元の到達目標」や「地理・歴史、小学校の振り返り」等の工夫が見られる。 ・現代的な諸課題を自分事として捉えられるよう、持続可能な社会の形成を意識しながら学べる工夫がされている。さらに「18歳へのステップ」等のコーナーを通じて、主権者意識を高め主体的に社会に参画する態度も考えさせている。 <p>「中学社会 公民」（教育出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報の矛盾や不確実性を考えるため具体的な「フェイクニュース」等の事例を通じてメディアリテラシーの知識を実感しながら学ぶことができる。 ・「公民の窓」等のコラムでは、今日的な話題や地球的規模の課題等立場や場面によって視点が大きく異なる社会的事象を取り上げ、多面的・多角的に考察し、批判的に読み解くことで公正に判断する力を養うことができるように工夫されている。 ・「まなびリンク」では、100問以上の問題が掲載されており、ICT機器を利用した予習・復習ができる等、個別最適な学びの支援のための工夫がされている。 ・巻頭の学びの記録としての「公民のノート」づくりの例が示され、終章の「私たちが未来の社会を築く」での公民のゴールを見据えながら効果的な資料づくりを提案している。 <p>「社会科 中学生の公民」（帝国書院）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習目標に照らした日々の学習に位置づけ、見通しをもちやすい構成になっており幅広い知識を身に付けられるようになっている。 ・見開きのまとめ「説明しよう」では、習得した知識を活用し自分のことばでまとめることで表現力を養うことができるように工夫されている。 ・728種類のデジタルコンテンツが搭載されていて、アニメーションや統計資料等、個別最適な学びの支援の工夫がされている。 ・章・節・1単位時間ごとに学習課題が示され、「まとめや振り返り」ができるようになっている。特設ページと本文ページのコラムに設定された「未来に向けて」では、持続可能な社会の実現に向けて、課題を解決する力を育成する考慮がされている。 <p>「中学社会 公民的分野」（日本文教出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・章のまとめと振り返りができるページがあり、学習した内容についてキーワードに沿って確認し、知識の整理と定着を図るこ
----------------------	--

<p>会長</p> <p>事務局</p>	<p>とができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アクティビティ」や「チャレンジ公民」では、事例や資料をもとに根拠を示し、意思決定する学習活動を通して、現代社会の諸課題を「見方・考え方」を働かせて公正に判断し、議論する力を養うことができるように工夫されている。 ・ポートフォリオやイントロダクションムービー等の教科書デジタルコンテンツが充実しており、自学自習の支援、生徒の学習意欲の向上につながるよう工夫されている。 ・見開きページごとに学習課題を設けており、導入資料、学習課題、見方・考え方、本文図版、確認等が統一されたレイアウトで配置されている。 <p>「新しい公民教科書」（自由社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公民にとって重要な言葉について「ミニ知識」のコラムを設けて解説しており、関連事項が理解できるようになっている。 ・「もっと知りたい」では、学習内容をより深めることができるコーナーがあり、思考をさらに深めるための一助となるように工夫されている。 ・親しみやすいキャラクターが使われており、学びやすさ、興味・関心の向上につながる工夫がされている。 ・1単位時間のタイトルの下に、学習課題が提示されており、その視点をもつて学習を進め、「ここがポイント」を踏まえることで、課題を解決できるような工夫がされている。 <p>「新しいみんなの公民」（育鵬社）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を通して「対立と合意、効率と公正」という現代社会の見方や考え方の基礎を着実に習得できるようになっている。 ・見開きのまとめ「探究」では、社会的事象の意味、意義を解釈したり、事象間の関連を説明させたりすることで、現代社会の諸課題について公正に判断し、表現できる力を養うことができるように工夫されている。 ・「スキルアップ！」を4か所設置し、発表や議論の仕方、ロールプレイング、ディベート、KJ法、ランキング等、主体的な学習を促す工夫がされている。 ・「やってみよう」のコーナーで、作業や活動を通して課題を追究・解決する活動を示して、巻末の「よりよい社会をめざして」の單元では、社会科学習のまとめとして、各自がテーマを設定し、レポートを作成する学習課題を示している。 <p>最後に、地図の報告を願う。</p> <p>「新しい社会 地図」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会科だけでなく、他教科とも連動させることができ、教育活動全体を通し、生徒の知識を深める工夫がされている。 ・3分野の学習に活用できる主題図や、変化や比較等を読み取りやすくするために複数の資料を組み合わせる等、社会的事象を多面的・多角的に考察できるように工夫されている。 ・地球儀、地図、映像等の楽しく学べるデジタルコンテンツが設定されており、学びやすさの向上につながっている。 ・課題解決的な学習に効果的と考えられる地図や、グラフ・写真等の資料を掲載している。歴史的分野や公民的分野の学習内容を補完する資料も精選して掲載されており、学習効果を高める工夫がされている。 <p>「中学校社会科地図」（帝国書院）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「地図で発見」の問いを設けており、社会的な見方・考え方を働かせることによる知識定着を図ることができる。
----------------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・「地図で発見！」では、日本や世界の諸課題について「地理的な見方・考え方」を働かせたり、対話的な活動を促したりする問いを通して、思考力を養うことができるように工夫されている。 ・歴史や公民、修学旅行等、多目的に活用できるように、修学旅行や校外学習で多く訪問する都市を中心に縮尺5万分の1の地図が14か所に設置されている。 ・社会科3分野のほか、総合的な学習の時間等にも活用できる自然、産業、歴史等の様々な情報が地図上に掲載され、空間認識をともなった幅広い知識や教養が身に付けられる。
会長	社会、地理的分野について質問はあるか。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を目指した授業改善が求められているが、地理的分野において工夫はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・地理的分野においては、教科書の資料だけでなくデジタルコンテンツも豊富であり、生徒が自分自身の課題に応じて学習に取り組めるように工夫されている。また、思考ツールが導入されている会社も多く、他者と協働した学びを促す工夫もされている。
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校と中学校の接続や系統性については、どのようになっているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・会社によって異なるが、地理の学習の進め方について特集ページが設けられている。また、小学校の既習内容を掲載することで、系統的に学習できるようになっている。
会長	歴史分野について質問はあるか。
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・各会社によって史実の取り上げ方の違いについてはどのようになっているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・どの会社の教科書についても学習指導要領に準拠しており、国の検定も受けているため問題はないと思われる。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史的分野において、史実に対する生徒の理解を深めるためには資料の充実が大切だと考えるが、どのようになっているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書に掲載されている資料だけでなく、二次元コードを読み取ることで多くの資料に触れることができる。画像だけでなく動画や歴史クイズ、学習に活用できるリンク集などもあり、生徒が興味をもって学習に取り組めるようになっている。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・見開きの冒頭に学習課題が明示されており、複数の視点から学びを深める考慮がされている。学習の見通しをもてるように、各章の冒頭に視覚的に歴史の流れをつかめるような資料を用いる工夫をしている。また、ページのレイアウトも統一してある会社が多く、生徒が安心して学習に取り組めるようになっている。
会長	公民分野について質問はあるか。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学ぶ力を養い、確かな資質・能力を育成するためにも課題解決的な学習が重要であると言われている。今回の報告においても、課題を追及したり、解決したりする活動の充実という観点があったが、もう少し詳しく教えてほしい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・まず、単元を貫く課題や見通しが示されており、生徒が主体的に課題解決的な学びに取り組める導入となっている。また課題解決に必要な資料やデジタルコンテンツが準備され、生徒の学習を支援している。

A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・課題解決的な学習には、生徒自身が学びを振り返り、次の課題を見出したり、意欲を高めたりする過程が大切となるが、そういった点で工夫は見られるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の振り返りができるページが用意されており、学習の過程を振り返ることができるようになっている。また、思考ツールやポートフォリオなどを活用して学習が展開できるようにもなっており、生徒の思考力を育成するための工夫が見られる。
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・公民的分野においては、これからの時代を担う人材を育成するための主権者教育も必要だと考える。この点について、どのように扱っているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・現在や将来の社会の問題についても考えられるような資料が充実している。豊富な資料を基に、これからの行動の仕方についての自身の考えをまとめるといった内容もある。
会長	<p>地図について質問はあるか。</p>
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・地図については、生徒にとって見やすく、わかりやすいという点が重要となるが、どのような特徴があるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・2社とも基本図は等高段彩表現に陰影表現を合わせた立体感のある地図表現であり、文字も読みやすいUDフォントを使用している。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・特に資料面については、どのような工夫が見られるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍は、地理の教科書との連携を強化し、人口ピラミッドの作成や地形図の読み取り等の学習に必要な資料が掲載されている。帝国書院は、実際の地形図を取り上げ、作業を通して地形図の見方が身に付けられるコーナーが設けられている。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・紙面だけでなく一人一台端末の活用に向けたデジタルコンテンツの充実が各社見られると思うが、どうか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・東京書籍では、SDGs や国際社会で起こっているさまざまな問題の資料を取り上げた特集ページを設け、現代の諸課題の理解を促し、主体的に学習が進められるようにデジタルコンテンツに接続するための「二次元コード」が配置されている。帝国書院では、社会科の学習を地図帳ならではの視点で補完する資料がデジタルコンテンツとして設けられている。地図活用のためのアニメーションやクイズ、発展的なウェブマップなどが活用できる。
	<p>次に数学の報告を願う。</p>
	<p>「新しい数学」（東京書籍）</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ・「問題（Q）」では、「補助発問①、②、…」を手がかりに、既習内容をもとにして、数量や図形についての性質を見いだしたりする数学的活動を通して、様々な場面で活用できる技能を身に付けることができる。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「深い学び」では、解決の必要感のある問題を提示し、主体的な学びを促すとともに、多様な考えを説明し伝え合う「対話的な学び」の場面を設定し、見方・考え方が働く深い学びを実現できるようにしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・「章とびら」や「節の導入」「深い学び」などで、生徒が日常生活や社会の問題を解決したり、数学の新しい性質を見いだしたりする活動を扱い、数学的活動の楽しさや数学のよさが実感できるようにしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・巻末に、章の学習後にその章で働かせた数学的な見方・考え方を振り返る「数学の目でふり返ろう」を設定し、同じ数学的な見方・考え方を前の学習や先の学習でも働かせていることを、具体例を通して確認できるようにしている。
	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りや社会とのつながりを意識した導入課題が設定されており、必要に応じて動画や図形のシミュレーションなど授業

や家庭学習にも活用できる二次元コードコンテンツが1752点用意されている。

- ・数学と身のまわり、数学と社会、算数と数学などのつながり、数学的活動の楽しさや数学のよさを感じられるように日常生活や社会の問題を解決したり、数学の新しい性質を見いだしたりする活動を扱っている。

「数学の世界」(大日本図書)

- ・本文の側注「思い出そう」には、小学校や前の学年までに学習した内容が記載されており、系統的に学習を振り返りながら、基礎的・基本的な知識を確実に身に付けることができる。
- ・「学びにプラス(視点を増やそう)」では、学習をもとに別の考え方や逆の見方をする課題を通して統合的に考察する力や、既習の事項と結びつけてひろげる課題を通して発展的に考察する力を養えるようにしている。
- ・各章の「活動」では、複数の生徒の考え方を提示し、それを読み取って比べることを通して多様な考えを認め、よりよく解決しようとする態度を養えるようにしている。
- ・巻頭の「数学の世界へようこそ」には、中学校数学の学習において働かせたい数学的な見方・考え方を既習の内容を用いた具体例とともにまとめている。また、数学的活動の中でそれらを働かせることができるよう働かせ方の具体例も示している。
- ・問などに付随して二次元コードを読み取ることができ、「数学の世界Web」や「数学の世界Webプラス」にアクセスすることができる。繰り返し確認できる解説動画の視聴やC B T形式の問題の実施、統計データの編集が可能である。
- ・生徒が話し合ったり、考えを提示し合ったりする場面が意図的に設定されており、主体的・対話的に学習を進め、協働的な学習を実現できるように構成されている。

「中学校 数学」(学校図書)

- ・日常生活の事象や数学の事象から、生徒自身で疑問を見いだすことができるように「Q」が設定されており、問題を解く手順が段階をおって示されているため、対話を基に見通しを立てて解決することができるようになっている。
- ・本文中の「説明する力をつけよう」では、問題解決の方法などをわかりやすく正確に他者に伝えるにはどうしたらよいかを、対話を通して考え、簡潔・明瞭・的確に表現する力が高められるようにしている。
- ・節のとびらや「〇〇の利用」、「数学へのいざない」、「章のまとめの問題活用」、「深めよう」、巻末の「さらなる数学へ」などで、身のまわりで数学が役立っている場面を積極的に取り上げ、生活や社会に生かそうとする態度を養えるようにしている。
- ・章全体が「日常生活や社会の事象・数学の事象」→「生徒自身の疑問・問題発見」→「数学的に表現した問題・焦点化した問題」→「数学的な見方・考え方を活用した予想」→「問題の解決」→「まとめ」→「生徒自身の新たな疑問」の構成である。
- ・統計資料のデータ分析が効率的にできる表計算ソフトの掲載や生徒の自由な質問にチャットボットが答える教科書アドバイザー「マスマス！」が導入されているなど、ICTコンテンツが充実している。
- ・生徒同士が対話している場面を多く取り入れ、他者へ正確に伝えるために何が必要か考えたり、目標を設定して解決への見通しを立てさせたりできるような工夫がされている。

「中学数学」(教育出版)

- ・章の冒頭では、既習内容の確認が充実しており、章末では、「学

習のまとめ」内で学習した基礎的・基本的な内容を確認することができる。また、巻末には、「学びのマップ」が取り上げられており、復習するポイントが視覚化されている。

- ・「大切にしたい数学的な見方・考え方」では、「条件や範囲をひろげて考える（発展）」や「関連づけて結びつける（統合）」といった数学的な見方・考え方を例示することで、生徒の意識化を図っている。
- ・「学習のまとめ」では、章の学習を通して見いだした学習してわかったことや、解決のしかたを協働的にふり返る場面を設定している。また、「たしかめよう」では、自分の理解度を◎○△で自己評価するしくみを設けている。
- ・巻頭「みんなで数学をはじめよう！」や「学びのプロセスページ」では、問題発見・解決の過程を示すことで、主体的・対話的な数学の学び方を意識できるようにしている。
- ・Webサイト「まなびリンク」では、紙媒体では実現が難しい動的な表現や立体的な表現などによって学習の補助ツールとすることができ、シンプルなデザインから無理なく授業に活用することができる。
- ・生徒が数学を学ぶことの必要性を感じられるよう、すべての章に章とびらを設け、実社会や日常生活、先端テクノロジーなどの数学にかかわる話題を取り上げている。

「未来へひろがる数学」（啓林館）

- ・「学びをいかそう」では、身近な場面で数学を使って問題を解決していく課題が設定されており、学習した内容を活用して調べたレポート例が紹介されているため、事象を数理的に考察し、表現する能力を育むことができる。
- ・「○○の利用」の節には、「ステップ方式」の課題を必ず置き、事象を数学的に解釈し数学の問題を設定して数学的に表現・処理したり、考察したりしようとする姿勢が身に付くようにしている。
- ・「学習のとびら」や「数学ライブラリー」には、数学が関係している身のまわりの題材をできるだけ取り上げられるようにし、楽しく取り組みながら数学を学ぶ意義や有用性を感じられるようにしている。
- ・利用場面に「ステップ方式」を導入し、「問題を設定する、解決する、解決の過程を振り返って改善を図ったり新たな問題を設定したりする」といった数学的な問題発見・解決の過程を意識できるようにしている。
- ・統計資料では、ヒストグラムなどの自動作成ツールが用意されており、簡単に図や表の作成ができ、効率的にデータ分析が可能である。
- ・数学的な見方・考え方を体得するために、「たいせつな考え方」を側注に明示し、生徒が意識して問題解決できるよう構成されている。

「これからの数学」（数研出版）

- ・既習事項をもとにした導入課題から始まり、学んできた内容を活用して新しい知識を見出すことを促している。学習のゴールが明確になるよう、その時間の学習活動が明記されている。
- ・数式で表現したり、数式を読み取ったりする機会を豊富に設け、数理的に考察し、自身の考えを数学的な言葉で表現する基本的な能力の習熟が図れるようにしている。
- ・学習事項に関連した話題を扱った「数学旅行」を充実させ、数学の有用性を実感できるようにしている。中には、数学に関連のある職業に就いている人へのインタビュー記事を掲載し、数学を学ぶことの意義が感じられるようにしている。
- ・生徒キャラクターの対話や先生キャラクターの助言を通して、

	<p>生徒が深く考えながら身に付けることができるようになっていたり、「問」のあとに、生徒に別の視点から考えさせるようなQを豊富に設けたりしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解の助けになる図や生徒の興味に繋がる図・写真が効果的に使われている。図に添えた文字や図中の記号は、大きく書かれており、情報が分かりやすくなっている。 スモールステップで学習を進め、多様な生徒たちそれぞれに合わせた、個別最適な学びを実現し、深い理解に基づいた確かな知識や技能が身に付くように工夫されている。 <p>「中学数学」（日本文教出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> 学習内容のタイトルがついた「例」では、きめ細かなステップで展開されているため、基礎的・基本的な内容が理解しやすくなっており、復習もしやすい構成となっている。 事柄や事実、方法、理由などを数学的な表現を用いて説明する問題が「説明できるかな？」として出題されている。 「身近なことから」から数学の問題を見いだしていく数学化の過程が丁寧に扱われているので、生徒が主体的に学ぶことができるよう工夫されており、数学を生活や学習に活かそうとする態度を養うことができる。 巻頭の「数学の学習を始めよう！」の、数学的活動を通じた問題発見・解決の過程と学び方のポイントで、数学的に考え表現するための学び方を生徒にわかりやすく示している。 統計資料等の素材やデータは、生徒の日常生活や将来の社会生活で役立つ場面を想定しており、どの地域の生徒にもなじみがあり、自分たちが住む地域のデータも入手しやすい題材となっている。 誰もが使いやすい教科書二次元コードコンテンツや思考力、判断力、表現力等を育成するコンテンツなどが豊富に用意されており、ICTを使った学びのサポートができるように構成されている。
会長	質問はあるか。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ICTの利活用の推進が求められているが、どのような工夫が見られるか。 それぞれの会社ごとに様々な工夫がされており、使いやすさや量の充実、個別最適な学びや協働的な学びに対応できるコンテンツなどが掲載されている。例えば、オリジナルの統計用ソフトの活用やプログラミング体験、チャットボットによる解説などが導入されている。
事務局	
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> 小中での系統的な学びは大切であるが、特に算数・数学は積み重ねが大切な教科である。そのような視点での報告はあったか。 例えば、啓林館では算数と関連する内容を扱う場合は「ふりかえり算数」 高校の内容に関連する発展的内容は「発展」が記載されている。他の会社についても学びのつながりを円滑にするような配慮がされていることが報告されている。
事務局	
会長	<ul style="list-style-type: none"> 「学びに向かう力」を高めるため、生徒の主体性を促すような工夫はされているか。 例えば、学校図書では身の回りから問題を発見し、それらを数学化・焦点化し解決し、結果をまとめた中から、新たな問題を発見するという教科書の構成となっている。他の会社についても「身近なことから」から数学の問題を見出していく過程を大切にしている。
事務局	
会長	次に理科の報告を願う。

「新しい科学」(東京書籍)

- ・「章末問題」は、二次元コードを読み込むことで、一問一答形式で確認でき、学習履歴も残るので、苦手なポイントに絞って学習することができる。
- ・シミュレーションでは、実物を見るのが難しいものやイラストだけでは理解しにくい内容において活用し、思考力を深める手助けとしている。
- ・「Before&Afterシート」では、学習前と学習後に同じ問いを考えて記録することで、自分の考えの変容を知ることができ、自己肯定感の向上や学びに向かう力を涵養できる。
- ・アイコンを用いて「問題発見」「課題」「仮説」「構想」「観察実験」「分析解釈」「検討改善」「ふり返り」「結論」「活用」が示されている。また教科書左下にフローチャートがあり、探究の過程が確認しやすく工夫されている。
- ・「まちなか科学」や「お仕事図鑑」、「私たちのSDGs」などの読み物で、学習内容が日常生活や社会でどのように活用されているかを紹介している。
- ・デジタルコンテンツは、インタラクティブコンテンツで作成したものがブラウザを閉じても残るため、次時の授業でも継続使用できることが特徴。動画に字幕など丁寧なつくりで、結果をまとめるためのコンテンツもある。
- ・単元配列は各単元の指導時期や内容の関連性を踏まえた配置になっており、生徒の科学的概念の形成に配慮されている。

「理科の世界」(大日本図書)

- ・「これまでに学習したこと」「思い出そう」で既習事項を示し、「章末問題」や「読解力問題」で、繰り返し復習させるようになっている。
- ・観察・実験では、「結果の整理」と「結果から考えよう」で、結果・考察の視点を示している。また、「話し合おう」では、思考や表現する場面を示している。
- ・生徒が自ら探究に取り組めるよう、「やってみよう」の項目があり、自然の事物事象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養うための工夫がなされている。
- ・探究の過程がアイコンで示されており、さらに学年ごとに重視する項目が色分けされている。生徒が主体的に取り組みやすいように工夫されている。
- ・「つながる」アイコンでは、他教科の学習内容とのつながりを示している。さらに、「そのころの日本」ではとり上げた内容と同じ頃に日本で起こっていたことを紹介し、科学史と日本の歴史の連携を図っている。
- ・「基本操作」が必要となる単元のはじめにまとめて掲載されており、場所が分かりやすい。各種コラムは、関連する内容に付随する形で各所に分散されて掲載してある。
- ・単元配列は、小学校との関連を重視した配置となっており、観察・実験のしやすい時期や、学年による理科室使用の重なりなどに配慮されている。

「中学校 理科」(学校図書)

- ・観察・実験では、手順がすべて写真で示されており、器具の配置などが理解しやすく工夫されており、基本操作が正しく習得できるように工夫されている。
- ・探究の過程の中で、生徒などのキャラクターが登場して観察・実験の結果を示して考察へとつなげ、思考力、判断力、表現力を深める工夫がされている。
- ・「Can-Do List できるようになりたい目標」に、各単元で身につけたい資質・能力が示されている。また、この時間の見方・考え方を確認できるようになっており、これからの学びや人間

性の形成につながる工夫がされている。

- ・各所に「この時間の課題」「この時間の見方・考え方」が示されており、生徒の思考を手助けしている。さらに「理路整然」のコーナーを用いて、探究のための資質・能力を身に付けさせられるような表現がなされている。
 - ・学習内容が「SDGs」や「防災・減災」など、様々な課題に対してどのような関連があるのか特集するページやアイコンが用意されている。
 - ・デジタルコンテンツが教科書紙面を Web ページにした「ミライ教科書」と一体化しており、生徒自身が参考資料等の各種コンテンツにアクセスしやすい。
 - ・単元配列は想定する年間指導計画に沿って系統的に配列されている。あらかじめ余裕のある時間数で計画されており、探究等に使えるよう配慮されている。
- 「自然の探求 中学理科」(教育出版)
- ・技能においては、観察・実験の操作を習得させるだけでなく、安全に活動するための指示や禁止事項などが一目で分かるように表示している。
 - ・「私のレポート」を示すことで、主体的な学びを支え、思考力・表現力を育成できるようにレポートの例を掲載している。
 - ・結果の考察をもとに導きだした「結論」を示すことで、探究の過程をふり返らせている。また、「ハローサイエンス」では身近な化学の話題について学習できるコラムを掲載して、これからの学習につなげている。
 - ・様々な場面で生徒の対話例が示されており、理科の見方・考え方に気付けるような表現がなされている。
 - ・「ハローサイエンス」で科学に関するコラムを、「科学者列伝」で学習内容に関わる科学者を紹介し、日常生活との関わりを際立たせ、興味関心を引く工夫がなされている。
 - ・「観察のスキル」や各種コラムは、関連する内容に付随する形で各所に分散されて掲載してある。
 - ・単元配列は、各単元の指導時期や学習内容のつながりを考慮した配置となっており、地域や学校の実態に応じて指導計画を立てられるように配慮されている。

「未来へひろがる サイエンス」(啓林館)

- ・二次元コードを読み込み、問題に繰り返し取り組むことができる。さらに、理解しにくい内容については、動画で丁寧に解説されている。
- ・生徒キャラクターの意見や「それってホント？」の批判的な思考を通し、生徒自身の思考力や表現力を高める工夫がされている。「なるほど」では、生徒が間違いやすい概念について、正しく理解するポイントを示している。
- ・「探Q実験」では、仮説や計画などを生徒自身が考える実験を設けている。「探Qシート」では、自分の考えを自由に書き込むことで対話が生まれ、生徒自身の考えの変化が見とれるように工夫されている。
- ・探究の過程が「?」「考えてみよう」「発表してみよう」「活用してみよう」などで示され、さらに観察・実験の過程がアイコンで示され、生徒が主体的に取り組みやすい工夫がなされている。
- ・「深めるラボ」や「お仕事ラボ」など科学のコラムや「探Qのたね」では、学習内容が日常生活や社会でどのように活用されているかを紹介している。
- ・「観察のスキル」や各種コラムは、関連する内容に付随する形で各所に分散されて掲載してある。
- ・単元配列は、同一学年内での単元指導順序の入替えが自由に行える配置になっており、2学期制や3学期制にも対応できるよ

<p>会長</p>	<p>うに配慮されている。</p> <p>質問はあるか。</p>
<p>A 委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各報告の中からも、理科においては「探求」がキーワードになっているようであるが、探求する力をつけるために、どのような工夫がされているか。 ・各社とも教科書の冒頭部分において、「探求をはじめよう」や「探求の進め方」などのページを設け、探求の流れをイメージできるような工夫をしている。また、探求の出発点である「なぜ？」という気持ちを喚起するような題材が取り上げられている。
<p>B 委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・実験の安全性について、どの教科書も触れられているが、注意喚起の分かりやすさ、伝わりやすさという視点ではどうか。 ・全般的に、デジタルコンテンツを活用した動画などでの説明が主流となってきており、生徒が実験のやり方や、安全性の確保について動的にとらえやすくなっている。啓林館では、実験中に地震が発生した場合の対応をのせるなどの工夫もされている。
<p>会長 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「今日的な課題」を解決する上で、理科のもつ可能性は高いと考えられるが、どのような取り扱いになっているか。 ・キャリア教育、伝統・文化、STEAM 教育などを題材にした読み物を取り入れたり、科学技術を利用した SDG's の取組が紹介されたりしている。また、自然災害から身を守るためにできることを考える場面を設けている。今日的な課題の解決に挑戦するための能力の向上が期待できる内容となっている。
<p>会長</p>	<p>では、ここで15分の休憩を入れる。</p> <p style="text-align: center;">【休憩】</p>
<p>会長 事務局</p>	<p>それでは、続きをはじめます。音楽、一般の報告を願う。</p> <p>「中学音楽 音楽のおくりもの」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材を通してどのような力を身に付けるかが明確に示されており、既習事項を踏まえて学習が進められるように工夫されている。 ・鑑賞領域では、曲に対する評価や感想を広げたり、西洋音楽と日本音楽の音色や特徴を比較したりする記述欄が設けられている。 ・歌唱では1年生の初めは斉唱や音域の近い二部合唱が多いが、学年が上がるにつれて難易度が上がり、互いのパートを聴き合いながら歌うことが求められるような教材になっている。 ・各学年の教科書に掲載されている「Sing! Sing!」「Let's try!」では、セルフチェックや具体的なイラストの指示などが掲載されており、生徒が継続して取り組める工夫が見られる。 ・諸外国と日本の音楽文化の共通点や相違点、我が国や郷土の伝統音楽では、和楽器や口唱歌などを取り上げ、表現と鑑賞の学習活動に生かすことができるように配慮している。 <p>「中学生の音楽」(教育芸術社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知識・理解」に関するコラムや、キャラクターの吹き出しなどでヒントが示されていて、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようになっている。 ・活動のヒントとなる吹き出しや「ここに注目!」には、思考力、判断力、表現力につながる質問や助言が示されている。 ・「学びのコンパス」では、学びの手立てを示すことにより、見通しをもって学習に取り組むことができ、生徒同士の対話を促

<p>会長</p>	<p>すことで、自己の考えを広げたり深めたりすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創作「Let's Create!」では「リズム」、「音程」、「リズムと音程」と段階を踏んで取り組めるようになっている。 ・社会の中で果たす音楽の役割や、多彩なジャンルの音楽作品を紹介する内容が掲載されている。
<p>事務局</p>	<p>続いて、器楽合奏の報告を願う。</p> <p>「中学器楽 音楽のおくりもの」(教育出版)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各楽器の基本的な奏法が身に付けられるように写真を交えて、分かりやすく明記されている。 ・器の音色を聞き分ける「表現の仕方を比べてみよう」や楽器を使った音楽創作ができる「音のスケッチ」のコーナーが設けられている。 ・楽器ごとにスモールステップが設定されており、学習が進むにつれて難易度も上がっている。 ・導入では、同じリズムでアンサンブルができる楽曲が掲載されており、演奏することに自信をもたせるとともに、他者と協働して表現を工夫することができるよう配慮されている。 ・和楽器の奏法や楽器で演奏できる唱歌を取り上げることで、我が国や郷土の伝統音楽のよさを味わい、愛着がもてるよう工夫されている。 <p>「中学生の器楽」(教育芸術社)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各楽器の基本的な奏法が身に付けられるように、写真とともに学びのポイントが明記され、親しみのある曲を演奏できるように工夫されている。 ・学習の具体的な手順が示され、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようになっている。 ・楽器ごとに楽器についての説明が丁寧にされており、学習を深められるように工夫されている。 ・「学びのコンパス」では、手順に沿って学習を進めることで、主体的・対話的で深い学びの実現に結び付けられるよう工夫されている。 ・生活の中の音楽についてのコラムや、取り扱う楽器ごとに、その楽器と文化との関わりがまとまっている。
<p>会長</p>	<p>音楽、一般について質問はあるか。</p>
<p>B 委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調査員会議では、各会社の資料等においてどのように話し合われたのか。 ・それぞれの会社ごとに特徴があることが話題になりました。まずは、教科書の大きさは同じだが、表紙の質感に光沢があり近代的なアニメーションを活用した会社とマットな質感で手描きの絵を活用した会社とがあり、教科書を開く前から印象が異なっていると報告されている。
<p>A 委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習指導要領にある「音楽の見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力を育成する」ための学習効果などについてはどうか。 ・教育出版では、音楽の特徴をつかませるために「アクティブ」がある。思考・判断・表現を深めるための指導に生かすことができるかと報告されている。教育芸術者では、「学びのコンパス」で音楽の特徴とともに、話し合う時の視点について書かれ、自己表現しやすくなるような手立てが講じられていると報告されている。
<p>C 委員 事務局</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽でも、「教科横断的な学習」は行われるのか。 ・それぞれの会社で楽曲について詳しい背景が記述されているので、それぞれの時代について社会のように考えさせたり道徳

D 委員 事務局	<p>的な思考を促したりする教科横断的な視点がみられると報告されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽における ICT の活用は教科書の中にみられるのか。 ・どちらの会社ともデジタルコンテンツが充実しており、①カラピアノ音源②ワークシート③模範演奏④鑑賞用映像等が二次元コードで読み込んで学校でも家でも利用できるようにしてあり、個別最適な学びを深めることができると報告されている。
会長	<p>器楽合奏について質問はあるか。</p>
会長 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・調査員会議では、各会社の資料等においてどのような工夫が話し合われたのか。 ・それぞれの会社とも、とても丁寧な楽器の説明や演奏のポイントが示され、視覚的に捉えやすいように写真が多用されている。また、教育芸術社はデジタルコンテンツをほぼ全ページに用意し、演奏の様子を二次元コードで読み込んで映像で確認できるようにしてある。教育出版も、適宜二次元コードが用意され、個別最適な学びをより深めることができると報告されている。
C 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・他の学びを深めるための学習効果などについてはどうか。 ・教育出版では、表現力を高めるために「音のスケッチ」や「深めてみよう」がある。表現の工夫について、演奏を試行錯誤しながら、詳しく考えることができると報告されている。教育芸術者では、「学びのコンパス」で音楽の特徴に気づかせるとともに、話し合う時の視点について書かれ、自己表現しやすくなるような手立てがあると報告されている。
会長	<p>次に、美術の報告を願う。</p>
事務局	<p>「美術」（開隆堂）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙を魅力的に加工することで、生徒の美術に対する興味・関心を引き付けるとともに、色彩や質感、材質が感情にもたらず効果を意識させる工夫がされている。題材のねらいや内容がわかりやすくなるように、授業の展開を意識した紙面構成になっている。 ・資料が知識、思考、鑑賞などで分かれているので、見るポイントがわかりやすく、発想から構想につなげやすい。制作過程を詳細に掲載しており、発想につなげやすい。 ・1は巻頭に図画工作から美術へのイメージマップを、2・3の巻末には社会へとつながるような構成になっており、3年間で美術と社会のつながりに生徒が興味関心をもてるような工夫がされている。 ・題材ごとに身近に感じる参考作品を提示し、生徒の製作意欲を引き出すような工夫がされ、鑑賞材料も豊富であり鑑賞する視点が捉えやすい作品が多く、興味関心を高めやすい配慮がされている。 ・装丁にも工夫をし、表紙の写真にも立体感を出し、さらに質感にもこだわり、鑑賞材料としても学習できるように工夫されている。 <p>「美術」（光村図書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・POINT として造形的な視点を意識させることで、写真や2次元コードで見られる参考作品を全体のイメージや作風でとらえやすくなっている。 ・「みんなの工夫」「インタビュー動画」で生徒一人一人の制作工程や作品へ込める想いが見えることで発想構想への手がかりとなっている。質感のある用紙を使用し、作品に入り込める鑑

	<p>賞が出来るよう工夫されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料として「知識・技能」に関する項目を一冊に集めたことで、生徒が様々な技法や用具の方法について理解しやすく、学習活動の中で自発的に確認・学習しやすい工夫がされている。 ・各題材には、3つの柱ごとの目標を示し、「鑑賞」や「ポイント」として、生徒の学習活動を助ける工夫がされ、吹き出しで参考作品の視点が分かりやすく表現されている。 ・身近に感じられるものや生活に沿った表現が多様に提示され、生徒にとっては入りやすい題材が多く、生徒自身が表現したい表現方法や技法が理解しやすく、鑑賞から発想へのつながりが感じとれる。 <p>「美術」（日本文教出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材ごとに〈造形的な視点〉として〔共通事項〕や考えさせたい効果などを提示している。 ・生徒が真剣に作品に向き合う情景写真、作者の言葉、制作過程、「表現のヒント」を掲載することで、生徒の「やってみたい」を引き出せるよう、自ら主題を生み出す発想・構想の手立てになるように工夫されている。 ・各題材の横には、学習の目標を3つの柱ごとに示したり、「鑑賞の入り口」の短文や「造形的な視点」「表現のヒント」といったコーナーを用いて、生徒が学習活動に取り組む上での道筋や支援の工夫をしたりしている。 ・生徒作品を多く掲載し、同年代の発想や作品に触れることで生徒の活動への意欲を高める工夫をしている。 ・生徒が制作過程を創造しやすい参考作品を載せ、学年に応じた表現技法や基礎基本の知識・技能も多様に提示されている。鑑賞作品から作品制作につながりやすいよう配慮が感じられる。
会長	質問はあるか。
C 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・美術は技法や技能の知識が大切であると考えるが、各会社それらを伝える工夫はあるか。 ・開隆堂は、巻末にその学年に必要な知識や技能が掲載されている。光村は、別冊で知識や技法を学ぶために必要な資料が1冊にまとめられている。日文は巻末の学びを支える資料の中で、技法についてまとめられていて、各社それぞれの工夫がうかがえる。
D 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・美術作品には作り手の思いがあると思うが、各社工夫はされているか。 ・各社、作者の言葉や作者のインタビュー動画などで作り手の思いが伝えられている。
B 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・表紙が魅力的であるようだが、具体的にどんな特徴があるのか。 ・表紙の特徴としては、開隆堂は、1年生の教科書でタイルの質感が味わえたり、2・3年生の教科書で絵の具を塗り重ねた筆跡を、指で触れて味わえたりする。日文は、表紙と裏表紙を広げると1枚の絵や写真になることでインパクトがあり、生徒の興味関心を高める工夫がされている。
A 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の教科書改訂から今は、どの教科も、またどの会社も二次元コードが付いていて動画等が見られると思うが、美術ならではの工夫や各会社の特徴等あれば詳しく教えてもらいたい。 ・どの会社も立体作品を様々な角度から鑑賞できたり、教科書には掲載しきれない多くの生徒作品を見ることができたりする。日文は、縦横だけでなく斜めからも見たい角度で立体作品を見ることができたり、全題材で導入動画が見られたりする。
会長	次に、保健体育の報告を願う。

事務局

「新しい保健体育」(東京書籍)

- ・「活用する」では、想定事例に当てはめて、深く考える活動やグラフを読み取り、自分の言葉で説明する活動、実際に起きた事例について、分析、検討する活動を通して課題解決の中核となる学習活動が展開されている。
- ・「活用する」や「広げる」では、その時間の学びを活用して思考力・判断力・表現力等を育成する内容になっている。
- ・はじめに日常生活での経験やこれまで学習してきたことを振り返らせる発問が生徒をひきつける内容になっているため、ねらいに迫る学習課題の工夫が示されている。
- ・学習課題の前にある、「見つける」では、自分の内面を見つめる活動、データを読み取る活動、生徒の思い込みに揺さぶりをかける活動、自分の経験を基に自由に考える活動など多様な活動を通して学習課題に迫っている。
- ・科学的に理解するために、多様な視点から物事をとらえられるよう、学習内容と関連が深い話題「読み物」を掲載し、理解を深めることができる。
- ・各章の扉に「この章で学習すること」として課題と学習の流れが示され、小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。

「中学校保健体育」(大日本図書)

- ・学習の振り返りに、思考を深める問いがあり、さらに調べたいことや日常生活に活かすための意欲喚起につなげている。
- ・各單元には関連する章末資料へのリンクが掲載されているため、学習内容から発展する様々なトピックにアプローチができ、一人一人の興味・関心に合わせて学びを広げている。
- ・「やってみよう」「話し合ってみよう」「深めよう」の項目で活動場面を示し、思考力・判断力・表現力等を育成する内容になっている。
- ・章扉では、小・中・高で学習することが明記され、学習内容の系統性が分かるような工夫が見られる。
- ・トピックスでは、身近なテーマについて触れているのでより自分事として考えられる。
- ・章末の「学びを活かそう」では、実生活で実践することができる課題が設定されている。

「最新 新しい保健体育」(大修館)

- ・本時の学習課題を「きょうの学習」に示すことで、ねらいの明確化が図られ、学習の見通しがもてるように工夫されている。
- ・章末に、「章のまとめ」として、学習したことを活用して考えられるような問いを多く設定し、知識・技能が確実に習得できるような工夫が見られる。
- ・「学習のまとめ」では、実生活に関連付けたり、学んだことを活かしたりする課題を通して、仲間との対話的な学びや深い学びを実現することができる。
- ・各章の始めに「小学校で学習したこと」「高校で学習すること」の関連を示し工夫されている。また、各單元のはじめに課題をつかむための問いがあり、思考を促すことができる。
- ・興味、関心のある運動、スポーツに関する話題や中学生にかかわる健康課題を積極的に取り上げているため、主体的に取り組む態度を育む工夫がされている。
- ・「コラム」や「事例」、「体育の窓」で著名人の話や、身近な話題に触れることで、知識を発展させ実生活につなげることができる。

「中学保健体育」(学研)

	<ul style="list-style-type: none"> ・章末に「章のまとめ」を設け、単元ごとの確認問題があり、キーワードも示されているため、もう一度学習の振り返りがしやすい形になっている。 ・導入が自身の生活に関連させて考えられる内容になっているため、生徒が学びの必要性を感じることで、思考を働かせる授業展開につなげやすい。 ・事例や情報などの問いから、学習する課題を発見しやすく、興味・関心をもたせる工夫が見られる。 ・「探求しようよ！」では、身の回りにある様々な課題をとりあげており、自分事として捉えられるようになっている。 ・「情報サブリ」「リンク」が示されていて、専門機関のウェブサイトなどを見ることで、さらに学びを深めることができる。 ・各章の扉に「この章で学習すること」として課題と学習の流れが示され、小・中・高等学校の学習内容の系統性が明記されている。
会長	質問はあるか。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・保健体育の学習においても、主体的・対話的で深い学びの実現が求められるが、生徒が主体的に課題解決学習に取り組めるような工夫はあるのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・どの会社の教科書においても、導入の段階で資料を示したり、既習内容を振り返ることができるようにしたりと、生徒に課題をつかませるような工夫が見られる。例えば、学研では、「ウォームアップ」というコーナーがあり、資料や具体例などを通して、生徒の気付きから学習が始められるようになっている。
C 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容をどのようにこれからの生活に活かしていくといった視点も重要だと思うが、学習を振り返ったり、日常生活とのつながりについて考えたりできるような工夫はあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・章のまとめとして、学習内容の理解を確認するページが設けられている。その中で、学習への取組を振り返ったり、日常生活とのつながりについて考えたりする設問がある。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・どの会社の教科書においても、多くの資料をもとに学習を進めていく工夫が見られるようだが、デジタルコンテンツはどのようになっているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・動画やワークシートなどの資料が豊富に用意されている。教科書の二次元コードを読み取ることで簡単にアクセスすることができ、生徒の理解を深めることができる。また、東京書籍では、CGを活用し、仮想の街に入って周囲の危険個所を見つけるといったシミュレーションができる。
会長	次に、技術・家庭、技術分野の報告を願う。
事務局	<p>「新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各編とも冒頭に「目標」を示し、「学習課題」「問題解決」「社会の発展」の流れで構成されている。学習の見通しをもつことができるとともに、主体的に問題の発見と問題解決に取り組めるようになっている。 ・学習の導入となる簡単な活動「レッツトライ」から問題発見・課題設定、問題解決が具体例とともに、思考や作業の流れが分かりやすく構成され、どのような問題をどのように解決するかについて考えるようになっている。 ・適切に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度や考え方を養うために、「技術のめがね」「最適化の窓」という欄を設けて、様々な制約条件のもとでの最適化の方法が示され、「技術の見方・考え方」が工夫されている。 ・SDGs と技術との関わりを持続可能な社会の構築のために、技

術が果たす役割に気づくことができるよう工夫されている。

- ・写真やイラストを用いて持続可能な社会の実現に向けた取組紹介や提案が示され、学んだこととこれからの社会との結びつきを考えるようになっている。

「新 技術・家庭 技術分野 明日を創造する」(教育図書)

- ・別冊「スキルアシスト」に、各内容に必要な技能がまとめられ、学習内容に応じて活用できるように工夫されている。
- ・各章の最後に身近な取組を調べて、学習過程を振り返ることができるように工夫されている。
- ・各内容に「やってみよう」として、自ら学んだり、グループで学んだりしやすい問いかけが示されるとともに、「まとめの問題」で振り返ることもできる。
- ・「社会の問題を自ら考え、解決に取り組む力」を育成するため、「技術のプラス面・マイナス面」「社会の発展と技術」等について学ぶ工夫をしている。
- ・持続可能な社会のイメージをイラストなどで示し、これからの生活や社会、環境と技術の関わりについて、実践的な態度を養う工夫がある

「技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて」(開隆堂)

- ・身の回りの具体的な製品から基本的な知識・技能が習得できるよう工夫され、製品のイラストや写真が多く使われている。
- ・各内容、導入、基礎学習、展開、まとめ・評価の順で構成され、生徒の発達の段階に関わらず、問題解決的な学習が展開できるように工夫されている。
- ・実験や学習課題などで協力し、結果を話し合っって検証するような協働的な活動ができるようになっている。
- ・「環境」マークで、環境について意識を高め、循環型社会の理解を深められるように工夫されている。
- ・技術との関わりの中で、SDGsをどう達成するか、教科書にワークシートを設け、考える活動が行えるようになっている。

続いて、家庭分野の報告を願う。

「新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して」(東京書籍)

- ・実習や生活の中で必要な基礎技能をまとめた「いつも確かめよう」は、写真、イラスト、デジタルコンテンツが充実しており、基礎技能を定着させる工夫がされている。
- ・1節ごとに目標・学習課題からまとめへの流れが統一されており、物事を考えたり、意見を整理したりするのに有効な思考ツールを示し、対話的な学習を支援している。
- ・各節の初めに「目標」「レッツスタート」「学習課題」を掲げ、見通しと課題意識をもって学習を進められ、「生活にいかそう」「まとめよう」で自分の考えを書いたりすることで、自分の学習を確認できるようになっている。
- ・調理実習の調理例が豊富に掲載され、デジタルコンテンツが充実しており、家庭でも実践することができる工夫がされている。
- ・本文と資料はマークで区分され、見方・考え方についてもマークで示されている。ページ下には、学習内容の関連コラム「せいかつメモ」を掲載している。
- ・ユニバーサルデザインの視点から、UDフォント、図版やイラストのレイアウトや、カラーバリアフリーを意識した紙面作りをしている。また、右利き・左利きに対応した事例も掲載している。

	<p>「新 技術・家庭 家庭分野 くらしを創造する」(教育図書)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調理実習のページはわかりやすい手順の写真や手順の説明がポイントを押さえて簡潔にまとめられており、基礎知能を定着させる工夫がされている。 ・「学びを生かそう」では、問題解決的な学習を手順に沿って繰り返し取り上げ、見方・考え方の視点を意識した主体的・対話的な学習例を参考に、課題を解決できるようになっている。 ・学習の導入での「自立度チェック」、時間ごとに学習を評価する「私の学び」、章末の「学びを生かそう」を自分の言葉でまとめ、自分の学習を確認できるようになっている。 ・近年の自然災害の教訓を踏まえて、衣食住などの災害対策や社会状況にあわせて重視されている消費生活など、日々の暮らしやこれからの生活に関わる話題が掲載されている。 ・実物大写真が掲載され、多彩なデジタルコンテンツ(動画・データ)の資料を二次元コードから確認できる。献立作成の学習で利用できる食品シールの付録資料がある。 ・ユニバーサルデザインの視点から、UDフォント、余白のバランス、図の見やすさや、カラーバリアフリーを意識した紙面作りをしている。さらに、文字が濃くて見やすくなっており、重要な語句が青字で強調されている。 <p>「技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ」(開隆堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活の中では形として見えないものを実験やイラストで視覚的に表すことで、科学的に理解し、基礎的・基本的な知識・技能の習得ができるようになっている。 ・ガイダンスでは、課題をみつけ評価していく流れを示し、問題解決的な学習の取り組みを視覚的・具体的に示している。 ・学習のまとめりごとに見通しを持ち、生活の中から課題を見つけられるようになっていたり、「学習のまとめ」では学習を通して自分が感じたことを深め、自分の考えを書いたりするなど、自分の学びを確認できるようになっている。 ・調理実習例の手順が横流れで見やすく、科学的な理解を深める「調理方法Q&A」で生活の疑問に自ら気付くことができるような工夫がされている。 ・本文と資料は「参考マーク」で区別され、奇数ページ右上に学習の関連写真や名称、ページ下には豆知識を掲載している。 ・ユニバーサルデザインの視点から、UDフォント、読みやすい文章、カラーバリアフリーを意識した紙面作りをしている。さらに、本文と資料の字体や大きさを変えてある、グラフを外枠で囲んでいるため見やすくなっている。
会長	技術・家庭 技術分野に関して、質問はあるか。
C 委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の授業では、ものづくりをとおして学習を進めていくと思うが、ものづくりにおける内容は、どのようになっているか。 ・ものづくりにおいては、道具の使い方や設計の仕方を理解するまでに個人差があり、丁寧な指導が必要であると考えている。そのため、各会社において、二次元コードを多く設け、視覚的に学習しやすい工夫がされている。また、製品のイラストや写真が多く掲載されていたり、「注意」や「ポイント」の表示で技能を習得しやすくする工夫がされていたり、技能の内容を別冊としてまとめるなど、様々な工夫がされている。
D 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を各学校では進めているが、各教科会社ではどのように扱われているか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> 各教科書会社では、技術の「見方・考え方」に繋がる部分を各教科書会社の表現の仕方で記載されている。例えば、東京書籍では、「最適化の窓」を設け、見方・考え方を働かせ考える部分を意図的に設定している。また、教育図書では、「技術のプラス面とマイナス面」というページを設け、あらゆる視点から世の中の技術を見て考える部分を設定している。さらに、開隆堂では、「～見方・考え方で既存の製品を読み解こう」のワークシートを設置し、見方・考え方を働かせ考える場面を設けている。各教科書会社で、「主体的・対話的で深い学び」につながる部分が設けられている。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> 技術の教科書では、SDGsの内容は、どのように扱われているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 技術との関りの中でSDGsをどう達せするか、また、持続可能な社会の構築のために、技術がもつ役割はなにか、さらに、各単元で、SDGsの17の目標の何とつながりがあるか示されているなど、各教科書会社がSDGsとの関りを意識させる工夫をしています。
会長	家庭分野について質問はあるか。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> 家庭分野においては、いろいろな実習があると思われるが、実習を行うにあたって配慮されていることはあるか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 各社とも実習の流れを大きな写真や図等を用いて、統一した流れで示している。また、安全・衛生面での注意事項やアレルギー物質を含む食材にマークを付けるなどの配慮をしている。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> 家庭分野では、絵や図、資料などが豊富で見やすくなっている教科書がよいと思うが、そのような点は話題にあがっていたか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> 各社とも、実物大写真が掲載され、動画や資料が二次元コードから確認できるようになっていることが話題になった。
会長	次に、外国語の報告を願う。
事務局	<p>「NEW HORIZON ENGLISH COURSE」(東京書籍)</p> <ul style="list-style-type: none"> Grammar for Communicationでは、新出文構造・文法について、UseとFormでインプットをした後、Let's Tryでアウトプットをして基礎・基本を定着させるような構成になっている。 ラウンドリーディングを通して、概要をつかむことや詳細について把握する力を身につける。これらの活動を経て、自ら思考、判断、表現できるような構成になっている。 各学年の冒頭には、学び方コーナーが設けられており、英語学習のコツがまとめられている。 Real Life Englishでは、「聞く」「やり取り」「書く」の各技能領域に特化した活動を行い、「目的・場面・状況」に合わせたコミュニケーション能力を伸ばせる仕様になっている。 各箇所二次元コードが掲載されており、単語やスライド、本文などがスマートフォンで再生できるよう工夫されている。 デジタル教科書は本文の速度変更やマスク機能などが活用できるようになっている。文法の説明動画や学び方動画で生徒が家庭学習にも取り組みやすいように工夫されている。 <p>「SUNSHINE ENGLISH COURSE」(開隆堂)</p> <ul style="list-style-type: none"> Power-upでは、電話や店での会話など、目的や場面、状況を大切に言語活動によって4技能を伸ばす工夫がされている。 Actionではタスクが明確にあり、学んだ内容での自己表現活動につなげている。そこからOur Projectで身近な話題から社会的な話題について話せるようにするための工夫がされている。

- Coffee Break では、英語の略語表現や英語ならではの表現などを学び、生徒の表現力をさらに豊かなものにできるとともに、異文化理解を深めることができる。
- Scenes for Basic Dialogs で漫画の吹き出しがあり、セリフ調になっていて、実際のコミュニケーションの言語の場面が一目瞭然である。
- 巻頭の「教科書の構成」では3学年それぞれの目標と学習の流れがわかり、目標をもって英語の学習を進められるようになっている。巻末にある Word Web、small talk 表現集、アクションカードなどが言語活動に役立つ。
- デジタル教科書ではスピーキング評価機能があり、AIによる自動採点が導入されていて発音練習に役立つ。本文の再生機能では「チャック再生」や「役割再生」、速度調整、マスキングなどができ、様々な学習方法が実践できるよう工夫されている。

「NEW CROWN ENGLISH COURSE」(三省堂)

- Take Action では、目的・場面・状況に応じて聞いたり、話したり、読んだりする活動ができ、英語を使う必然性を感じながら知識・技能を高める工夫がされている。
- Lesson の仕上げにある Goal Activity では setting で場面が設定されており、モデル文の読解を行い、話す活動へ系統立ててつなげられているなど、4技能を統合した活動ができるよう構成されている。
- For Self-Study で音読のコツや学習方法など複数回(各学年5回)示しており、一人一人に合った学び方で自立した学習者を育成することができる。
- Take Action では日常生活でありそうな場面で英語を使う仕組みになっていて、skit を参考にして様々なパターンの会話を即興でできるようになっている。
- 巻末資料には Audio Scripts やロールプレイシート、会話に生かせる単語集など、言語活動に役立つものと文法学習に役立つものが掲載されている。
- デジタル教科書では、本文の速度調節やスキット練習、シャドーイングなどができるようになっている。本文等の発音チェックができ、自主的に学ぶための工夫がなされている。

「ONE WORLD English Course」(教育出版)

- Tips では4技能5領域のコツを習得できるようになっている。Useful Expressions では、「生きて使える」英語表現に慣れ親しむ工夫がされている。
- Project では、単元の既習事項を活用したグループワーク等で、4技能を統合した学習ができるよう工夫されている。
- 「まなびリンク」は生徒がアクセスことができ、生徒の興味関心を引き出すとともに、個別最適な学びをサポートできるよう工夫されている。
- Useful Expressions では、注文や買い物などの身近なテーマを扱い、生きて使える英語表現に慣れ親しめる工夫がされている。
- 巻末資料に語形変化や形容詞・副詞比較変化表、不規則動詞変化表などがまとまっており、確認や復習がしやすいよう工夫されている。
- デジタル教科書では、本文の再生でカラオケ再生や速度調節ができるほか、録音・再生ができて自分の発音とネイティブの発音を比較することができる。

「Here We Go! ENGLISH COURSE」(光村図書)

- Daily life は会話やリスニング、案内を読み取るなど実生活

	<p>に直結する内容で、技能を高めるのに向いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き左下にある About you のコーナーで毎回ミニ自己表現があり、スモールステップを積み重ねることで表現力がついていく。 ・主人公たちの3年間のストーリーを通して伝えたいことを表現できる力を育てていく構成になっているため、学習への意欲・関心を高める工夫がされている。 ・Unit が扉→Part→Goal と系統的に組み立てられているため、英語をくり返して使うことで4技能5領域のコミュニケーションを図る資質や能力を段階的に育むことができるような構成になっている。 ・巻末には Let's Talk や学び方ガイドなど学習に役立つ資料が掲載されている。World Tour ではあらゆる外国の登場人物が出てくるので新鮮である。 ・デジタル教科書では、本文の実写ドラマがある。人物別音声オフ機能では、登場人物になりきって音読することができる。文法解説も登場人物が行っており、生徒の興味関心を引く工夫がされている。 <p>「BLUE SKY English Course」(啓林館)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Let'sのシリーズでは、実生活に即した場面で4技能5領域の学習ができるよう工夫されている。また、Enjoy Chatting では即興で話し、伝え合う力を育成できるようになっている。 ・Express yourself では自己表現ができるようになっており、言語活動の仕上げにできている。 ・それぞれの活動にインプットとアウトプットにおける目標が示されており、生徒や教師にとって「何ができるようになるか」が明確で、学習の見通しが立つようになっている。 ・Part ごとの Express yourself では、これまでの言語活動を踏まえて、自分の感情や考えを表現する力を身に付けるよう工夫されている。 <ul style="list-style-type: none"> ・スピーチ形式・やりとりの本文が多く、アレンジして言語活動に取り組みやすい。巻末の WORD BOX が活用しやすい。 ・デジタル教科書には本文のアニメ動画が収録されていて、言語の使用場面や状況の確認に役立つ。家庭学習をしやすい仕様になっている。
会長	質問はあるか。
A 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・系統的な学びという観点からも、小学校の学習をスムーズに中学校に接続できることが大切であると考えるが、どのような工夫がされているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、三省堂では、小学校で学んできた語句・表現や活動を思い起こすことができるようなアクティビティを用意している。各社とも小学校英語で学んだ「聞く」「話す」活動から中学校の学習を始めることで、学びをスムーズに接続できるよう工夫している。
B 委員	<ul style="list-style-type: none"> ・これから訪れるであろうグローバル社会において、英語力は重要になってくると思われるが、英語を学ぶ重要性については取り上げられているか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・例えば、東京書籍では、SDGs についての話題を多く掲載しており、これらの教材を通して、課題解決のために自分から行動できる生徒の育成を目指している。他の会社も、世界の中の日本という視点で多種多様な題材を用意し、英語の必要性を感得できるような工夫がされている。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・報告の中では、各社のデジタル教科書の特徴が挙げられているが、その有用性についてはどうか。

事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な学習方法が実践できるよう、本文の再生においては速度調整機能や人物別音声オフ機能などがついていたたり、スピーキング評価機能による AI の自動採点を導入していたりする。個別最適な学びという点で、それぞれの生徒が自分の学習進度に合わせて活用することができ、自主的な学びにつながることを期待できる。
会長	次に、道德の報告を願う。
事務局	<p>「新編 新しい道德」（東京書籍）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「見つめよう」の欄に教材から離れて自分を見つめる発問が用意されている。決意表明にならないような発問の工夫がされている。 ・「いじめ問題」と「命の尊さ」のテーマについて各学年、それぞれが3教材連続して行えるユニットを設け、重点的に取り扱っている。 ・同一の登場人物を各学年で登場させる「学年間連携教材」が配置されており、登場人物たちの3年間の成長を追うことで、今の自分を客観視するきっかけにできる。 ・ソーシャルスキルコラムが配置され、ソーシャルスキルを学ぶことで協働・対話する力を身につけることができる。 ・多様な考えを引き出すために、考え方を固定しかねない記述を削除し、生徒が登場人物に自我関与しやすいように挿絵が大胆に配置されている。 ・生徒が教材を読みながら気づいたことをメモできるように、教科書にメモ欄をもうけてある。 <p>「中学道德 とびだそう未来へ」（教育出版）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の冒頭に「導入」の問いが設けられている。日常生活での自分はどうかを考える問いや、同じ場面で自分ならどうするかを考える問いとなっており、生徒の日常と教材をつなぐことができる。 ・3年間を通し、「いじめ等の人権課題」、「持続可能な社会」、「生命の尊さ」を重点課題として、ユニットを組んでいる。ユニット内で教材、ひろば（コラム）を通して、多面的・多角的に考えを深めやすいように工夫している。 ・短い教材やビジュアルコンテンツも設けられており、生徒に伝わりやすい内容になるよう工夫されている。 ・道德的諸価値について考えを深めるために、教材が三つの段階にわけられている。順に追うことで自分の意見をもちやすく、対話や議論につなげやすくなっている。 ・すべての教材の冒頭に QR コード「まなびリンク」があり、内容理解を助ける「教材解説」が見られるようになっている。他にも、心情メーターなどのウェブツールや動画、外部リンクなどを見ることができる。 ・「学びを振り返ろう」はそのまま切り取って掲示したり、キャリアパスポートに加えたりすることができる。 <p>「中学道德 きみがいちばんひかるとき」（光村図書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教材の冒頭に、その教材で学ぶキーワードが示されている。本時で考えていく道德的価値を自覚し、その他のキーワードと関連付けたり、比べたりすることができるようになっている。 ・いじめ問題は、各学年の早い時期に行えるように3つの教材でユニットを組み、最終的には、「まなびをプラス」を配置して前の授業について考えるようになっている。 ・生徒が1年間で目指す姿や学びの見通しがたっており、生徒の成長に寄り添うようにテーマが設定、構成されている。 ・巻末に「まなびの道具箱」が付録されており、問いに対する考

えを整理したり、話し合いを活性化したりするのに役立つ思考ツールが示されている。

- ・教科書紙面のQRコードから、教材で取り上げている人物へのインタビューや、教材の理解を補足する資料、朗読音声などのコンテンツにアクセスすることができ、学びを深めることができる。
- ・小学校で学んだ教材が付録で掲載されており、活用すれば成長を実感できる。

「中学道徳 あすを生きる」(日本文教出版)

- ・「考えてみよう」に狙いに迫るための中心発問の例が示されている。また「自分にプラスワン」には、新たな考えや今後大切にしたいことなど、自分の生き方にプラスしたいことを考える発問例が用意されている。
- ・3年間を通し、「いじめと向き合う」、「よりよい社会を考える」を命題に各学年で複数の教材でユニットを組み、一定時期に集中して行えるように配置し、多面的・多角的に考えを深めやすいように工夫している。
- ・3年間を通して、教材・コラムの系統性が一貫するように配慮されている。
- ・他教科や他活動にも横断的に活用できるコラムを随所に配置することで、普段の様々な授業内から考えを持つヒントを得られやすい。
- ・道徳ノートには、自由に発問を記入することができる。学期末の振り返りのページがあり、印象的だった授業など成長の記録を残し、評価の資料として活用できるようになっている。また、先生や保護者のコメント欄があり、家庭との連携に生かすことができる。
- ・「明日へのメッセージ」は今日活躍している著名人から子どもたちへのメッセージが掲載されており終末などで生かすことができる。

「新版 中学生の道徳 明日への扉」(学研)

- ・教材の前に主題名を置かないことで、多様な考えを引き出し、自らの課題を発見する力を育てる工夫がある。教材への関心を高めるキーフレーズが用意されている。
- ・「情報モラル」についても各学年で情報を扱う際の配慮事項を複数の教材で取り扱いし、考えを深めるようにしている。
- ・多様性を尊重する教材、中でもLGBTQに関して、1年生は「自分らしさ」2年生は「多様な性を認め合う」3年生は「自分らしさを生かして活躍する」と学年ごとに発達段階に応じた内容が段階的・系統的に設定されている。
- ・学びを可視化できる思考ツールが複数設定されており、生徒間で交流する際のあしがけになり得る。
- ・学習に困難のある生徒たちを支援する機能が充実したデジタル教科書がある。
- ・「クローズアップ」は終末の説話として活用したり、テーマに関する話題を広げたりするのに役立てることができる。

「中学生の道徳」(あかつき図書)

- ・生徒がフラットに教材と出会うことができるよう、冒頭部分には内容項目の視点のみが示されている。一人一人が主体的に教材と向き合い考えを深めることができる。
- ・現代的課題の内、「いじめ問題」、「情報モラル」、「共に生きる社会」、「キャリア」の4つを重点課題としている。
- ・学期や年間の区切りごとに授業への取り組みを振り返ることができるシートがあり、自分自身の成長や変容を見取りやすくなっている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・各学年に三か所ずつ、問題解決的な学習など多様な活動方法が示されており、役割演技や体験的な学習を通して他者と対話し、考えを深めるきっかけにできる。 ・デジタルコンテンツを用いることで、授業の導入や終末、授業後に参照し学びを広げることができる。二次元コードから写真や動画、参考となる外部ページを見ることができる。 ・何年も前から扱われているいわゆる名作と言われるような教材と、SNS、多様性、いじめなどを取り扱った新しい教材とがバランスよく取り上げられている。 <p>「道徳 中学校」（日本教科書）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末にウェルビーイングカードが付録として用意され、切り取って活用できるようになっている。カードを活用することで授業の中で内容項目そのものについて学ぶだけでなく、生徒自身が自分はどうの価値を大切にしているのかを意識したり、それについて生徒同士で議論したりすることをサポートできる。 ・「いじめ問題」については、いじめをとりまく内容、複数の内容項目と生徒自身が考えを深め、多面的・多角的に考えを深めやすいように工夫されている。 ・キャリア形成に関する教材では、1年生は「自己理解」2年生は「自己啓発」3年生は「自己実現」をテーマとした教材が設定され、系統性に配慮されている。 ・簡易的な四コマ漫画と、その内容に沿ったインタビューといったビジュアルコンテンツが設けられており、ストーリー性よりも話し合い重視の工夫がされている。 ・教材は学習指導要領の内容項目順に配置され、各学校の年間指導計画に基づき教材の配列を自由に組み合わせることができる。 ・教材の配列が内容項目の順番になっているので、年間計画の作成時など、内容項目に沿った教材の選択がしやすくなっている。
会長	質問はあるか。
A 委員	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・子供たちの成長を見守ることにおいて、学びのつながりという点からも道徳においても系統性が大切になってくると思うが、そのような工夫はされているか。 ・例えば、光村図書においては小学校で学んだ教材が付録に掲載されており、それらの教材を学び直すことで、自分の考えの成長を自覚できるような工夫がされている。その他の会社においても系統性に配慮した教材の設定や「学年間連携教材」の配置などがされている。
B 委員	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・道徳においては、「人権」について考える場面も多くなってくるが、どのような扱いがされているか。 ・各社とも今日的な課題として、「いじめ問題」や「命の尊さ」、「情報モラル」などを取り扱い、「共に生きる」ことを大切にするような教材を取り上げることで、「人権」を守ることの大切さに気付くことをねらいにしている。
会長	
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・「考え、議論する道徳」にするために、どのような工夫がなされているか。 ・例えば、読み物教材だけでなく、自分自身への「問い」から「見方・考え方」を深める教材や、話し合い中心の「思考」を重視した教材を取り入れている。また、役割演技やリフレーミングなど体験的な学習を取り入れた教材もある。
会長	皆様の御協力により、全ての教科書の報告が円滑に終了するこ

事務局	<p>とができた。感謝申し上げます。これで議長の任を解かさせていただきます。</p> <p>事務連絡を事務局より申し上げます。 第3回選定委員会は、7月17日に行田市産業文化会館2AB会議室にて行う。よろしく願います。連絡事項は以上である。</p>
司会	<p>大変お疲れ様でした。以上で、第2回第19採択地区教科用図書選定委員会を終了する。</p>